

■失敗を無くすこと■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 170 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

170 目次

1. ブログから：失敗を無くすこと
2. トピックス：ニッチ大学特別講演
3. 今後の予定：今週・来週以降
4. アクセスポイント：問い合わせ先
5. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

1. ブログから：失敗を無くすこと

僕は以前「失敗をしないように生きる気はない」と言ったことがある。会社を潰すとき、僕に必要なだったのは「会社を潰さないためにはどうするか」ではなく「会社を潰すにはどうするか」だった。だが、僕はこれを心の中でずっと唱えている気がする。「失敗しないような生き方」は僕の中で悪いことになっている。だがこれが僕の目を濁らせていた。これはあくまで僕の選んだ生き方であって、僕の周囲や社会全般に当てはめるのは間違いだ。この考えを「悪」と決めることこそが、僕にとっての「悪」のはず。地主の学校を書いている、僕はこのことに気が付いた。本題から少し外れるので、ここに書いておきたい。

「成功するようにする」と、「失敗をしないようにする」とは、言い換えると「成功の許可」と「失敗の禁止」のことであり、「成功はしてもいい」けど「失敗はしてはならない」という意味だ。成功「してもいい」ということは「しなくてもいい」ということで、成功の確証はどこにも無い。だが、考えてみると、成功とはそんなもの。「成功しなければならぬ」とか、「成功するべきだ」などと言われると、何か違和感を感じてしまう。これに対し、「してはならない」とは「しなければいい」であり、誰にでもできること。だから、「成功はしなくてもいい」と「失敗はしなければいい」と言い換えると、誰にでもできる気がしてくる。

僕がこんなことを考えたのは、「シンガポールの駐車違反」のエピソードを書いた時だ。僕は今年の 1 月にシンガポールに行ってきたが、シンガポールの道路には路上駐車が 1 台も見当たらなかった。もちろん旧市街の一部には道路に駐車スペースが書いてあり、車もバイクもきちんと路上駐車していたが、それ以外の路上に違法駐車をしている車は 1 台もいなかった。シンガポールの取り締まりが厳しいのは有名だが、東京だってかなり厳しいし、罰金だって高額なのに、東京は至る所で違法駐車だらけだ。そこで、なぜシンガポールでは路上駐車がいないのかを調べたところ、「国民にはすべての車線を安全に使える権利があるので、路上駐車は禁止する」ということだった。なあんだ、そんなことかと思ったが、それは日本だって同じこと。なのになぜ、日本では路上駐車が

無くならないのだろう。

先週このブログで「最高の最低」と題し、最低の権利を高めたいという話をしたが、僕たち自身の意識もかなり低い気がしてきた。路上駐車が無くならないということは、すべての車線を安全に使う権利より、警官の目を盗んで目的地の近くにタダで車を停める権利が優先されているわけだ。駐車違反に対する罰金は、警官の目を盗むという成功に対する失敗だ。つまり、この場合の「失敗をしなければいい」は、「警官に見つからなければいい」になってしまっている。どうして「路上駐車をしなければいい」が、「警官に見つからなければいい」にすり替わってしまうのか。それはまさに先ほどの権利のすり替えが原因だ。シンガポールの「当たり前の答え」を聞いて、僕は権利のすり替えをしている自分に気が付いた。

失敗を無くすとは、誰もが成功できる最低のレベルを決め、それを下回る失敗を禁じるやり方だ。だとすると、そのレベルこそが権利であり、それを上回ることが成功だ。だから成功は失敗でない程度のぎりぎりクリアでも、大幅にクリアする大成功でもどちらでも構わない。つまり、権利とは成功することよりも失敗しないことであり、全ての人に与えられた「義務を果たす力」に思えてきた。そこで権利に必要なのは誰にでもできる「無料」であることだ。道路や公園を歩いたり、選挙の投票などは無料だが、それ以外の無料の権利はあまり見当たらない。義務教育の学校で給食費や教材費が払えない貧困家庭には、行くだけの権利しかない。ノルウェー、フィンランド、そしてドイツなら、留学生まで無料で学べるという。これは国が豊かという以前に、大学と公演が同じという意味だ。こうした権利のレベルこそが国の魅力だと思う。だとすれば、何でも有料で値上がりばかりの日本はかなりレベルの低い国だ。

むしろ現代では、企業のサービスが無料化しており、企業が人々に権利を与えている。誰もが進んで web 検索するのは、無料で得だから使うのではなく、すでにそれが権利となり、それを行使することが暮らしの一部になっている。権利とは使わなくても構わないが、使えないようにすることは許されない。それを失敗と考えれば、それを禁止して義務にするべきだ。土地は使わなくても構わないが、誰にも使えないようにすることは許されるのだろうか。所有者にはそんな権利があるのだろうか。僕はそんな権利は失敗だと思う。そんな失敗はしないようにしたい。

<http://nanoni.co.jp/20180805/>

.....

2. トピックス：ニッチ大学特別講演

子供からお年寄りまでが、自分の好きな世界を自由に語り合う場、それがニッチ大学です。

今回は特別に日大 OB の宇佐美浩平さんをお招きします。

彼は僕の甥っ子で、2015年の鳥人間コンテスト 2位の日大チームパイロットです。

ご期待ください。

日時：8月10日(金) 13-15時

場所：笑恵館（食堂）

参加費：無料

参加方法：出入り自由、要予約、このページの参加ボタンかメールにて

.....

3. 今後の予定：今週・来週以降

- 凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。
◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。
●同行可能：僕の訪問先にお連れします。
★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

- (月) 8/06 ○終日笑恵館で面談可
(火) 8/07 ○なのに作業日 (青葉台)
(水) 8/08 ○なのに作業日 (青葉台)
(木) 8/09 ○午後から笑恵館で面談可
13-15 時 ★ニッチ大学MTG (笑恵館)
15-17 時 ★日本土地資源協会経営会議 (笑恵館)
17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
(金) 8/10 ○午後から笑恵館で面談可
13-15 時 ★ニッチ大学特別講演 (笑恵館)
19-21 時 ★カプラー起業交流会 (三茶)
(土) 8/11 ○なのに作業日 (青葉台)
(日) 8/12 ○休業日

■その後のイベント

- 8/16 ★なるほどデイ・持ち寄り食事会 (笑恵館)
8/18 ★地主の学校を語る会 (笑恵館)
8/19 ★御宿グッドネイバーズ (御宿)
8/23 ★笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
8/26 ★名栗の森オーナーシップクラブ例会 (飯能)
9/13 ★日本土地資源協会経営会議 (笑恵館)
9/13 ★笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
9/14 ★カプラー起業交流会 (三茶)

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。
松村の予定はこちらで随時公開しています。 <http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也
メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのこ(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砦 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe...>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>